

<p>①事業運営方針的的確性</p> <p>NPO等の現状・課題を踏まえ、どのような考え方・方針で事業を運営するのか、記載してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 草の根からの「新しい公共」の普及・構築：マルチステークホルダー・プロセスによる取組を県下8地域及び県レベルで実施することにより、「新しい公共」の理念と体制を草の根から普及・構築すること。 2 ボトムアップの視点：各地域における多様な主体による協働の実態及び課題を明らかにし、それを基に全県的な観点から「新しい公共」ビジョンを策定すること。 3 市民セクター内部の連携：従来関係づくりが不十分であった地縁団体とNPO、NPO相互の話し合いの場を創出し、市民セクター内部での連携を推進すること。 4 県下全域におけるNPOのネットワーク形成：県内8地域における円卓会議及び中央におけるビジョン策定委員会の実施を通じ、全県的なNPOのネットワーク化を図り、力強いNPOセクターを形成すること。 5 実効性あるビジョンの策定：県レベルにおける行政、企業、市民団体の代表的主体が参画することにより、ビジョン策定後の効果的な活用を図ること。
<p>②事業計画の具体性</p> <p>事業にどのように取り組むのか、具体的に記載してください。（どのような関係者に、いつごろ、どのような形で、関わってもらうのかなど）</p>	<p>【平成23年度】 ※ 添付のスケジュール表参照</p> <ol style="list-style-type: none"> ① マルチステークホルダー・プロセスの体制整備 (NPO、自治会、企業、行政、大学等) <ul style="list-style-type: none"> ・全県版：新しい公共ビジョン策定委員会設置 (10月、全3回) ・地域版：新しい公共ビジョン地域円卓会議実施 (県下8か所、1回) ② 新しい公共ビジョン骨子案策定 (3月) <p>【平成24年度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① マルチステークホルダー・プロセスによるビジョン作成 (23年度と同一メンバー) <ul style="list-style-type: none"> ・全県版：新しい公共ビジョン策定委員会 (全4回) ・地域版：新しい公共ビジョン地域円卓会議実施 (県下8か所、2回) ② 新しい公共ビジョン中間案策定 (9月)、最終案策定 (12月) ③ 新しい公共ビジョン全県フォーラム (3月頃)
<p>③事業の成果</p> <p>事業全体として、どのような成果をだすのか、記載してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域レベルの多様な主体による「新しい公共」体制の基盤固め 2 全県レベルの多様な主体による「新しい公共」体制の基盤固め 3 NPOと地縁団体との連携による力強い市民セクター形成への意思統一 4 全県的なNPOネットワーク体制の確立と県全域におけるNPOの顕在化 5 地域の実情と課題を踏まえた、実効性ある新しい公共ビジョンの策定
<p>④事業予算の妥当性</p> <p>事業に必要な経費積算の考え方等について記載してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2年度分予算のうち、地域円卓会議やビジョン策定委員会等のイベントに係る経費、各地域における運営費、事務局運営費を概ね各1/3ずつ配分する。 2 事務局においては週3日程度のアルバイト (日額1万円) を雇用することとし、全体管理者の経費と合わせて計上する。 3 全県の組織的な対応を依頼する連合自治会に対しては活動協力費を計上する。 <p>※ 積算根拠等詳しい内容は、様式第4号へ記載</p>
<p>⑤事業の遂行能力</p> <p>貴団体が有する、事業実施に必要な組織体制、ノウハウ・ネットワーク、実績等について記載してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業実施に必要な組織体制 → ※ 添付の事業実施組織体制図を参照 2 ネットワーク <p>本事業は全県下における地域版マルチステークホルダー・ネットワークの形成や、各地域におけるNPO等への参加呼びかけが重要となるが、運営団体である(特)みえNPOネットワークセンター(法人申請中)は県内各地域の中間支援団体で構成されており、各団体が地域での豊富な活動実績や行政等との連携実績があることから、本事業について高い遂行能力を有する。また本団体は全県下の中間支援団体がネットワークを組むことで力強い市民セクターを創造することをミッションとしており、本事業はそれに沿うものである。</p> 3 実績 <p>事務局を担う(特)市民社会研究所は、2005年度に三重県企画室との協働事業として『新しい時代の公』県民円卓会議(NPOと地縁団体との連携による新しい公共形成がテーマ)を県下6か所で実施した実績を持つ。(参加者約250名)</p>

事業計画書

提案する事業について、いつごろ、どんなことを実施するのか、想定していることを記載してください。

平成23年10月1日～平成24年3月31日

*別添スケジュール表参照

年月	平成23年度取組内容
23年10月	新しい公共ビジョン策定委員会結成（全県版マルチステークホルダー・プロセス） ・構成員：NPO（中間支援団体）、地縁団体、企業、行政、大学等（10団体）
11～12月	新しい公共ビジョン地域円卓会議開催（地域版マルチステークホルダー・プロセス） ・場所：県下8地域（桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、名張、尾鷲） ・円卓会議参加者：NPO，自治会、企業、行政等10名（地域実態に合わせる） ・一般参加者：自由（40名程度）・発言権あり ・コーディネーター：新しい公共ビジョン策定委員が務める ・内容：①新しい公共学習 ②新しい公共事例紹介 ③円卓会議「新しい公共の進め方」 ・運営：各地域の中間支援団体
24年1～3月	新しい公共ビジョン策定委員会（2回開催）
3月	新しい公共ビジョン骨子案策定

達成目標

- 平成23年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。
 - 1 地域レベルの多様な主体による「新しい公共」の理解促進とネットワークの機運の醸成
 - 2 全県レベルの多様な主体による「新しい公共」の理解促進とネットワークの機運の醸成
 - 3 NPOと地縁団体との連携による力強い市民セクター形成への理解の促進
 - 4 全県的なNPOネットワーク体制づくりの着手と県全域におけるNPOの顕在化
 - 5 地域の実情と課題を踏まえた、新しい公共ビジョン骨子案の策定

- 達成しようとする成果を測る具体的な指標
 - 項目① 検討に参画するのべ県民数 目標値（500）人／1500人以上（2ヶ年計）
 - 項目② 検討に参画するNPO数 目標値（100団体）
 - 項目③ 新しい公共ビジョン策定委員会参画団体数 目標値（のべ30団体）
 - 項目④ 新しい公共ビジョン地域円卓会議参画団体数 目標値（64団体）

年 月	平 成 2 4 年 度 取 組 内 容 (予 定)
24年4～5月	新しい公共地域円卓会議開催（8か所）
	内容：①骨子案説明 ②骨子案を基にした円卓会議「新しい公共の進め方」
6～9月	新しい公共ビジョン策定委員会（3回開催）
9月	新しい公共ビジョン中間案策定
10～11月	新しい公共地域円卓会議開催（8か所）
	内容：①中間案説明 ②中間案を基にした円卓会議「新しい公共の進め方」
12月	新しい公共ビジョン策定委員会
12月	新しい公共ビジョン最終案策定
25年 2月	新しい公共ビジョンフォーラム
3月	報告書作成

成 果 目 標

■平成24年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。

- 1 地域レベルの多様な主体による「新しい公共」体制の基盤固め
- 2 全県レベルの多様な主体による「新しい公共」体制の基盤固め
- 3 NPOと地縁団体との連携による力強い市民セクター形成への意思統一
- 4 全県的なNPOネットワーク体制の確立と県全域におけるNPOの顕在化
- 5 地域の実情と課題を踏まえた、実効性ある新しい公共ビジョンの策定

■達成しようとする成果を測る具体的な指標

- 項目① 検討に参画するのべ県民数 目標値（ 1420 ）人／1500人以上（2ヶ年計）
- 項目② 検討に参画するNPO数 目標値（ 200団体 ）
- 項目③ 新しい公共ビジョン策定委員会参画団体数 目標値（ のべ40団体 ）
- 項目④ 新しい公共ビジョン地域円卓会議参画団体数 目標値（ のべ128団体 ）